

第67回熊本小児保健研究会

不器用さには理由がある?!

～気づかれない
もう一つの
発達障害への
アプローチ～
DCD(発達性協調運動障害)
2020年2月2日(日)
13:00～16:00(受付開始12:30)

会場：熊本大学病院 総合研究棟3階 講習室
(熊本市中央区本荘1-1-1)

※当日はできるだけ公共交通機関をご利用ください

保育園で、学校で、遊びや運動ができないから後ろで座り込んでいた。僕は一生懸命やっているのに、先生からみたらふざけているように見えるみたい。どうせちゃんとやってもできないから、ふざけて笑いをとってごまかしていた。17歳のころに初めてDCDを知った。10年前から知ってたらもっと違っていたのかもしれない。

プログラム

座長 三淵 浩 先生
(熊本大学病院 新生児学寄附講座 特任教授)
座長 浪本 正晴 先生
(九州中央リハビリテーション学院
理学療法学科 専任教員)

◎特別講演.1

13:05～

日本小児科学会(新)更新単位 iii 小児科領域講習:1単位
日本医師会生涯教育講座 (取得カリキュラムコード) CC72
成長・発達の障害:1単位

演題:「小児科医だからできる
身体性からの神経発達障害へのアプローチ
～キーワードはDCD(発達性協調運動障害)～」

講師:中井 昭夫 先生
(武庫川女子大学 教育研究所 / 大学院臨床教育学研究科/
子ども発達科学研究センター教授)

◎熊本での実践

14:05～

演題:「感覚・運動アプローチと課題志向型
アプローチを組み合わせた指導により靴紐結びの
スキルを獲得した不器用さを呈する児童の一事例」

講師:松井 匠 先生
(桜十字病院リハビリテーション部/作業療法士)

◎特別講演.2

14:45～

演題:「発達性協調運動症児への作業療法」

講師:岩永 竜一郎 先生
(長崎大学生命医科学域(保健学系)教授)

主催:熊本小児保健研究会
後援:日本小児保健協会、熊本県、熊本市、
熊本県教育委員会、熊本市教育委員会、熊本県医師会、
熊本市医師会、熊本県歯科医師会、熊本市歯科医師会、
熊本県薬剤師会、熊本市薬剤師会、熊本県看護協会、
熊本県栄養士会、熊本県保育協会、熊本県保育協議会、
熊本市保育園連盟、熊本県私立幼稚園連合会、
熊本県PTA連合会、熊本市PTA協議会、熊本日日新聞社、
NHK熊本放送局

参加費:2,000円

定員:100名

お申込み期限:

1月24日(金)

お申込方法:

右QRコード、または下記
URLにてお申込み下さい

<https://sites.google.com/view/kumashoniho/>

お問合せ先:TEL:096-373-5191

Email:shoniho@kumamoto-u.ac.jp

熊本大学大学院生命科学研究部
小児科学講座内 熊本小児保健研究会事務局

